

生活クラブ神奈川の組合員がつくる 組合員への機関紙
未来につなげる転換点(epoch/エポック)

隔月発行 2022 11.12月号 Vol.166

えぽ

ちよこつと 

各地域生協から一人ずつ、
この5人に期待される役割
は？ →ヒントは4ページ



リトルファームHOMMOKU
もくり 
← 15:00~18:00
Welcome OPEN!!

特集

生活クラブから
地域へ広げる思いやり

合言葉は「おたがいさま」

撮影: Photostudio-Home 葛谷 舞子
場所: リトルファームHOMMOKUもくり(横浜市中区)

What?
Why?

生活クラブの「たすけあい」って?

生活クラブは1980年代まで個別配送がなく、班(グループ)配送での利用に限定されてきました。消費材の申し込みから卵や肉などの分配、集金に至るまで組合員が行っていたので、組合員同士の協力は必須。自然と、子どもを預け合ったり生活の悩みを相談したり、日常生活でも支え合うようになりまし。

この目に見えない「たすけあい」をもっと広げようと思える化し、仕組みにしたのが1986年に生まれた「エコロ共済(制度)」です。組合員同士のたすけあいを推進し、地域にもその輪を広げることを目指しました。

班のたすけあいから始まった生活クラブの取り組みは様々な仕組み事業に展開し、助けてもらった人がいずれば助ける人になるような「おたがいさま」の関係を築いています。この支え合う関係を生活クラブから地域に広げること、誰もが暮らしやすい温かな地域社会をつくりたい。



詳しい利用方法は「エコロ共済ガイドブック」をご覧ください。生活クラブ神奈川HPからダウンロードできます



詳しくはこちら

組合員同士がゆるく繋がるきっかけに

エコロ講座・エコロひろば

チラシなどで、「エコロ講座」という言葉を目にしたことはありませんか? エッコロ講座は出会い、繋がる道具。オンライン開催のものを含めると、食・健康づくり・生活文化など約500種類もの講座が各地で開催されており、エコロ共済加入者が参加できます。

「エコロ講座」はコモンズ・デポーや地域生協の委員会のほか、エコロ共済に加入した組合員5人以上で作る自主サークル「エコロひろば」でも開催できます。開催費用はエコロ共済から補助があります。

まずはエコロ講座に参加して、顔見知りを増やすことから始めませんか?



エコロ講座は世界の料理、アロマ、子どもの遊びなど気になる講座が盛りだくさん

参加しなきゃもったいない!

3 生活保障

組合員本人や家族が病気などになったとき、ちょっとした家事やデポーでの買い物といったケアを他の組合員にお願いした際に使えます。妊娠～出産後の家事支援や託児など、お子さんのいる組合員の支えにもなっています。

上の子どもの入学式の際、下の子の託児をお願いした



家族の看病にかかりっきりの間、お惣菜をつくって届けてもらった



二人目の出産後、子ども二人をお風呂に入れるのを手伝ってもらった



+ 3 生活保障のオプション

組合員の知り合いがない...そんな人は

エコロプラス エコロ共済に掛金+100円/月

エコロ共済では助けてくれる人を自分で探して依頼しますが、エコロプラスでは地域のコーディネーターが、あらかじめ登録したサポーターから手助けしてくれる人を探します。以下のいずれかの条件にあてはまる方が利用できます。利用例は9ページへ

- ① 妊娠中もしくは小学校3年生までの子供がいる
- ② 18歳以下の子供がいる母(父)子家庭
- ③ 障がい児・障がい者が家族にいる(同居)
- ④ 要介護認定者が家族にいる(同居・別居とも可)
- ⑤ 加入者本人が70歳以上(独居者は65歳以上)

予告 2023年4月より①を「小学校6年生まで」に広げ、頼れる地域づくりをさらに進めていきます!

生活クラブから 地域へ広げる思いやり 合言葉は「おたがいさま」

毎日の暮らしで、誰かに手伝ってほしいと思うことはありませんか? 自分一人で家族だけで頑張ろうとすると、SOSすら出せなくなってしまうことはありませんか? そんなときに生活クラブには、エコロ共済(制度)や生活クラブ共済ハグくみなど、組合員同士で気軽にお願ひし、助け合える仕組みがあります。



世話好きな妖精「ケアリーヌ」生活クラブの「うれしいくみ」を広げるためにやってきました。

「3つの保障」があります



1 活動保障

組合員活動中のケガ・家事支援・託児などの保障で、企画・運営に関わる組合員や企画に参加する組合員を支えています。

産地見学の最中に転んで骨折した



消費材の試食会など、企画に参加したときの託児



2 共同購入保障

消費材の盗難・破損などを保障します。デポーでの買い物中の事故や、買物代行ケアグループ活動中の事故も対象です。

デポーの駐車場で転んで、購入した卵を割った



個配で届いた消費材を運ぼうとしたら、袋が破れて醤油のびんを割った



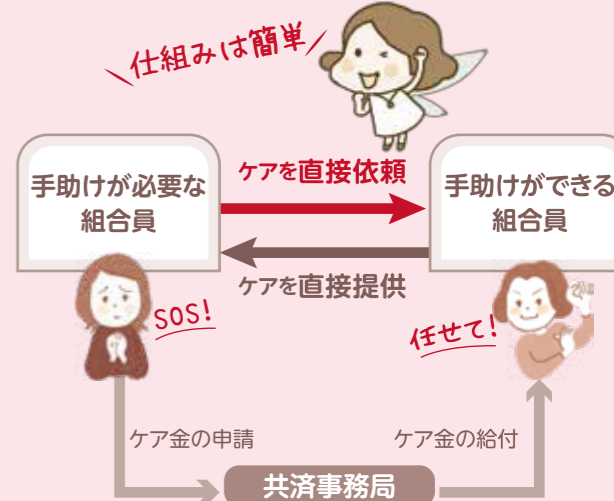
月100円で支え合う地域づくり エッコロ共済(制度)

一般的な共済保障は、病気・ケガなど困ったことが起きるとお金が出ますが、エコロ共済では家事などの手助け・ケアの給付を基本としていることが特徴です。手助けした組合員には、みんなで出し合う毎月100円の掛金から「ありがとう」の気持ちとして、ケア金(1ケア/2時間につき600円)が支払われます。エコロ共済は制度を使わなくても自然と助け合える関係性を地域に広げていきます。

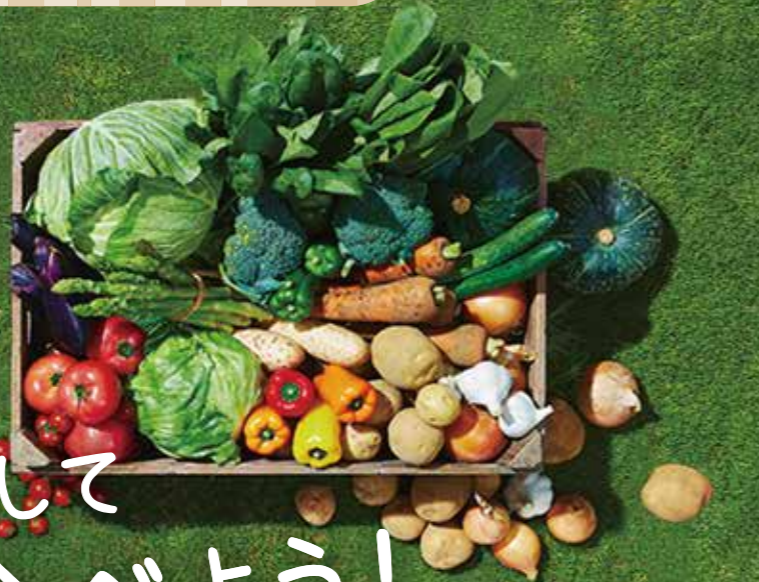
「エコロ」はイタリア語で「はい、どうぞ」という意味



仕組みは簡単!



生活クラブでは食料の自給力アップと持続可能な生産・消費を作るため、生産者と組合員が約束して計画的に作り・食べることを大切にしてきました。特に、将来にわたって食と環境に影響する重要な消費材「米・牛乳・鶏卵・畜肉・農産物」をビジョンフードと呼び、食べる約束＝「予約」運動に取り組んでいます。



野菜も約束して食べよう!



生活クラブの アースメイド野菜

あっぱれ育ち

はればれ育ち



化学合成農薬・化学肥料を使わない



化学合成農薬・化学肥料をできる限り減らす

生活クラブの野菜は「アースメイド野菜」と呼び、組合員と生産者が話し合いながら、土づくりからこだわって作られています。生産者にとって、自分が作る野菜は自分が食べたい野菜。生産者自身、農薬を撒くのはできるだけ避けたく、また「安心な野菜を食べたい」という組合員の思いに応じて、より栽培基準を厳しくした「あっぱれ・はればれ育ち野菜」作りに挑戦しています。

私たちが食べる仲間を増やして食べる約束(予約)をし続ければ、農薬を使わずに野菜作りをする生産者も増えていきます。食べる力を結集することが持続可能な農業に直結します。

予約 あっぱれ・はればれ野菜 おまかせ4点セット 748円 (税込808円)



産地の旬のおすすめ野菜4点が、年間ずっと同じ価格で届くこのセット。組合員が約束して食べる(予約)ということは、生産者も約束して作るということです。たとえ市場相場が高くなっても、生活クラブより高く買ってくれるからと市場に出荷することはありません。あくまでも、約束通り組合員のために作っている野菜です。組合員も約束を守って、産地の旬を丸ごとあまさず食べていきます。

注文(OCR)用紙裏面の6桁番号欄に記入してください

注文番号	803581	803582	803583
取り組み	毎週	隔週/AC週	隔週/BD週

「おまかせだと献立作りに困る」方でも大丈夫! 生産者おすすめのおまかせも一緒に届けます。

「毎週届いても食べきれない」方は隔週取り組みを! なるべく品目が偏らないようにしています。



産地は関東近郊の5産地

- さんぶ野菜ネットワーク(千葉県)
- 沃土会(埼玉県)
- 丸エビ倶楽部(茨城県)
- 野菜くらぶ(群馬県、静岡県)
- 栃木県開拓農協(栃木県)

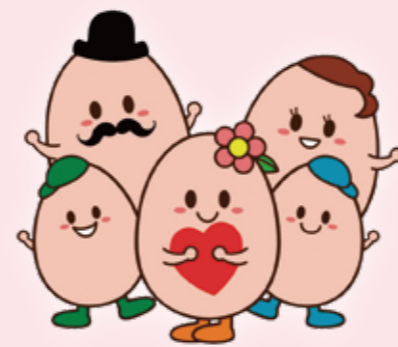


生産者からのメッセージを YouTubeでチェック!



みんなで「食べる力」を強くしよう!

気候変動や価格高騰(輸送費・光熱費・農業資材)など、あらゆる面から食を取り巻く環境は厳しくなっています。2022年も雹・高温被害・豪雨・台風などに翻弄され、生産者は苦労しました。だからこそ、私たちが約束して食べることはとても大切。生産者の思いを感じながら、これからもずっと食べ続けていけるように、みんなで食べる力を強くしていきましょう。



ハグくみの特徴

1 「組合員本人の暮らしに役立つ」ことを重視

- 死亡保障を抑えて、医療保障や退院後サポート金が手厚い
- 産後サポート金、出産祝金の給付も
- 入院・手術・通院・出産のときに、地域の福祉ワーカーズ・コレクティブのサポートを受けられる「生活クラブ共済ケアサービス ハグくみケア」があります

入院したとき、自宅に家族用のお弁当を届けてもらう、など

2 みんなが加入しやすい

- 持病があっても申告すれば加入できます
- 年齢が上がっても掛金は変わらず毎月1,000円

3 加入者を増やせば、もっと使いやすい保障に変えていくことができる

- 保障年齢(満期)を引き上げたり、ケガ通院1日目から保障したり、これまでに5回も制度を改定!
- 保障内容は組合員が決めています

ハグくみについて詳しくはこちら▶

「万が一」をサポート 月1,000円から

生活クラブ共済 ハグくみ

前ページのエッコロ共済への参加が広がり、さらに金銭面での補償を強めた共済制度を目指して、1995年に県の事業認可を得て誕生したのが「ステップ共済」。組合員が欲しい保障を組合員が作った、組合員のための特別な医療保障です。

2013年には「生活クラブ共済ハグくみ」と名前を変え、全国の生活クラブ組合員が加入できるようになりました。

こんな時に使えます!

出産

出産祝金 5,000円
+産後サポート金 10,000円

※加入時に妊娠していない方の普通出産に対して保障します

一人目に続き、二人目の出産でも給付があり嬉しいですよ。産後は物入りになるので助かります。(30代女性)

ケガ

捻挫で4日間通院
事故(ケガ)通院 日額1,000円×4日

2年前のケガの連絡をしたら、4,000円も頂きました。3年前までさかのぼって申請できることを知れて良かったです。(40代女性)

手術

白内障で日帰り手術
手術 50,000円

※症状によって支払い金額は異なります

白内障になりショックでしたが、日帰り手術にも支払いがあり嬉しかったです。私自身の掛金もこのようにどなたかの役に立てていたら嬉しいです。(60代女性)

商店街の人たちと空き家を修繕し、誰でもふらっと遊びに行ける居場所づくりを行う「リトルファームHOMMOKUもくり(横浜市中区)」を視察



地域の力を一緒に強くしていきましょう!

※エッコロ共済・居場所をテーマとしたアンジェーション支援基金(地域で人と人を繋ぐ居場所づくりの費用の一部を助成)など

各地域生協に1名ずつ、合計5名が任命されて活動を始めた「地域たすけあいコーディネーター」。生活クラブの様々な仕組みに取り組み組合員のサポートや、地域の団体・行政などの取り組みとの連携を探り、みんながより暮らしやすい地域づくりのコーディネーターを行います。

地域たすけあい コーディネーター

2022年度からスタート!

報告

未来の食を考えるひとを増やす

神奈川版 遊佐交流会

8/5(金) ~ 7(日)

『庄内遊Y O U米』の生産者／遊佐町共同開発米部会(山形県)と生活クラブが提携して50年。生活クラブ神奈川では2019年に「遊佐田んぼクラブ」を発足し、生産者との関係を深めてきました。この夏、これまでの関係性を生かした親子企画「神奈川版遊佐交流会」を初めて開催。未来を担う子どもたちが遊佐の自然・風土に触れ、米作りの面白さ・大変さを体験し、未来の食を考えるきっかけになりました。



今野会長の中山間地の田んぼからは、鳥海山がくっきり見えます



初日に収穫した野菜をグリルしてトッピング



ハウスの中で育つアスパラガス



バーベキューで食べるパプリカを収穫

参加人数 組合員4名・子ども5名

1日目 野菜の収穫、田んぼでの草取り、しらい自然館でバーベキュー・交流会、ホテル・星空観察

2日目 鳥海山(峠立山荘・大平山荘展望台)、釜磯海岸の湧水視察、カヌー体験、カレー作り

3日目 「庄内遊佐太陽光発電所」視察、丸池様視察、道の駅「ふらっと」、山居倉庫の見学

参加者の感想

「庄内遊Y O U米」が大好きな娘と、お米がどんな所で育てられているのか見に行く機会！と参加した私たち。天候にも恵まれ、アスパラガス・枝豆・パプリカの収穫やカヌー体験、鳥海山の様々な景色や太陽光発電所……お米だけではない遊佐の魅力をたくさん味わうことができました。

私はこれまで画面越しで話を聞いていた生産者の皆さんと、直接対面できたことが何よりも嬉しかったです。交流を通じて、お米や野菜を育てる想いや熱意はもちろん、私たち組合員のことも本当に大切に思っていたのを感じます。遊佐に愛着が湧いています。

娘は、「アスパラガスが育っている所を初めて見てびっくりした。釜磯海岸の砂浜の湧き水が深く、何度も足の付け根まで入ったけれど楽しかった。また遊佐に行きたい！」と話しています。お米を通じて出逢った遊佐の魅力、これから組合員に伝えていきたいと思っています。

横浜みなみ生活クラブ 田邊 依充



砂浜にポコポコ湧き水が出る釜磯海岸

報告

平和への想いを次世代に繋ぐ

ヒロシマ組合員代表派遣

8/4(木) ~ 6(土)

ヒロシマ組合員代表派遣は、地域生協の組合員カンパのもとに、8月6日の原爆の日に合わせて組合員が広島を訪れ、現地での視察計画を自ら立てて平和を学ぶ活動です。2022年は8名が代表として派遣されました。参加者は今後、現地でも体感したことを組合員に伝える語り部として、地域生協で発信していきます。

参加者の声

77年前の原爆投下は、広島市内すべての川をたくさんの遺体で埋めつくし、路面電車を乗客とともに真っ黒に焼き焦がしました。放射線が建物を突き抜け細胞を破壊し、一瞬ですべての生物の命を奪いました。想像してください。自分だったら、子どもだったらと……。

生き残った方にも様々な苦難がありました。放射線による後遺症、やけど跡、体内に残ったガラス片による影響などの直接被害はもちろんのこと、心の傷や長年に渡る病気の苦しみ、差別や偏見、働けないことによる貧困など、間接被害も受け続けました。

平和の対義語は、何でしょうか。戦争？ いいえ、「非平和」なのだそうです。今の日本に戦争はありませんが、本当に「平和」と言えるでしょうか。

表面的には美しくなった広島ですが、その土の下には今でもたくさんの命が眠っています。8月6日8時15分……たくさんの人の命・人生に思いを馳せ、涙が止まりませんでした。

ヒロシマカンパは自分にできる平和活動の大きな一つです。一人でも多くの人が参加し、平和への想いを次世代に繋げていきたいと思いました。

横浜みなみ生活クラブ 加藤 梨絵



参加者の湘南生活クラブ/原あずささん。城下町 commons 組合員が、平和への想いを込めて折った千羽鶴を「原爆の子の像」へ捧げました。

このコーナーでは、生活クラブ神奈川が取り組む活動を紹介しています



報告

3年越しの開催！

被災地ととともに

2022 夏の

リフレッシュツアー

in 神奈川かわさき

9/17(土) ~ 19(月・祝)

リフレッシュツアーを開催して

東日本大震災から11年。生活クラブ神奈川では震災の翌年より、子どもたちの放射能汚染からの一時避難を目的に、組合員とその家族に神奈川で過ごしてもらおう「リフレッシュツアー」を開催しています。

今回は、かわさき生活クラブがホストとなり「思いっきり遊んでかわさきの魅力を満喫しよう！そして心も体もリフレッシュ」をテーマに、生活クラブふくしま・生活クラブ栃木から5家族が参加し開催しました。



高津センターで参加者のみなさんと

- 1日目** 「平田牧場 極 KITTE 丸の内店」で昼食、東京駅周辺を散策、宮前平デポーで買い物&ワークショップ(割き布草履づくり・お手製布バックづくりなど)
- 2日目** 生田緑地(プラネタリウム鑑賞・園内散策・昼食)、高津センターでお楽しみ会&交流会
- 3日目** 朝食、お見送り

かわさき生活クラブでは4回目となるリフレッシュツアーを2020年から計画していましたが、コロナ禍で2年連続中止。コロナ禍でも被災地の組合員やその家族のリフレッシュは必要で「今の私たちができることがある」との思いで、開催に向けた準備を重ねてきました。

今回は3年越しようやく実現できましたが、台風14号の直撃で3日間も荒天。2日目の生田緑地では、宿泊地からバス停へ向かう途中から雨が降り始め、降車する頃には土砂降りに……。予定時刻を早め、高津センターでのワークショップ企画(ムシポット・海洋プラスチックアップサイクルアクセサリー・ミツロウラップ)を追加するなど、柔軟に対応することができました。

交流会では「3連休での開催は参加しやすく、台風だったが楽しめた」「かわさきの活動発表が参考になった」「昨年のリベンジで参加した」と感想をもらい、開催して良かったと実感できました。活動をしていけば、またきつとどこかでお会いできる！その日を楽しみにしています。

かわさき生活クラブ理事長 野村 美湖

参加者より

娘は「またみんなでお泊まりしたいなあ」と言っていました。かわさきの皆さんのおもてなしが嬉しく、ご一緒したツアーの皆さんが素敵で、恵まれたリフレッシュツアーでした。カンパで成り立っているツアーなので、私もカンパをしたり生活クラブを盛り上げたりしていきたいと益々思いました。

生活クラブふくしま組合員

デポーの見学が楽しかったですし、アップサイクルのアクセサリー作りも興味深かったです。栃木県は海なし県なので海洋プラスチックを手に入れる事は難しいのですが、鬼怒川から取れたプラスチックは身近に感じてもらえるかも、と思いました。

生活クラブ栃木組合員



ムシポットで白熱！



好きな柄をつけてオリジナル布バックづくり



初日のランチは東京にある平田牧場のレストランで



宮前平デポーへようこそ！



お楽しみ会でのご当地ゆるキャラクイズ



宮前平デポー店頭で割き布草履づくり

みんなで作る
利用者
コーディネーター
サポーター
賛同者
たすけあいの仕組み

ちょっとお願い！ エコプラス

エコロ共済に100円/月をプラスして参加できる、エコロプラス。地域のコーディネーターが、あなたの「ちょっとお願い！」に応えるサポーターにつながります*。そんな仕組みを覗いてみましょう！

※利用条件あり

今回は **サポーター編** です

利用者

コーディネーター

サポーター



美容院に行っている間、子ども二人をみていただけませんか？

いつもの山本さんをお願いしてみますね



わかりました！その日はデポで「夏まつり」をやっているんで、お子さんたちを連れて行ってみますね

横浜北生活クラブセンター南デポ
山本 千津子さん



今日は依頼者の希望でおでかけに。赤ちゃんの頃から遊んでいて、すっかり近所のおばちゃんです



エコロプラスに参加したきっかけは？

共済委員として活動していたときにエコロプラスの実験取り組みが始まり、サポーター登録をしました。当初はサポーター登録者がたくさんいたのでサポートに入ることはあまりありませんでしたが、活躍していたサポーターさんが高齢で卒業されて、最近では出番が増えています。

子育て世代のサポートに入ってどんなことを感じますか？

頼れる人がいない、若いママ組合員が多い印象です。サポートに入ると、手助けになっている感じが伝わってきます。

これまでに、託児・保育園の送迎・食事作りなどをしました。印象深かったのは抱っこしないと寝ない赤ちゃんがいる組合員のサポートで、私が抱っこして寝かしつけている間に、その方は家事をこなしていました。その時は本当に子育てが大変だなと思いましたね。

エコロプラスは1年間で20時間というサポートの制限がありますが、若いママ組合員は1時間をうまく使っていますよ。

エコロプラスに興味がある方は…

問合せ

ユニオン共済事務局

☎0120-311-543(月～金・祝 9:00～17:00)

動画で解説！

利用条件など、しくみの詳細はHPへ



私と生活クラブ



湘南生活クラブ
茅ヶ崎 commons

佐久間 景子さん
2018年12月加入

生活クラブに加入して、暮らしに変化はありましたか？

加入して間もなくF(消費)委員になり、翌年はE(環境)委員長、そして現在は運営委員長です。引っ越してきた知り合いが少なかったのですが、活動とともに幅広い年代の知り合いが増えています。また、食べるものや触れるものを気に掛けるようになりました。



委員長の活動は大変そうですが、なんでもパパッとやっているのを見て、すごいなあと思っています。(夫の拓也さん)

加入のきっかけを教えてください

母が組合員で、子どものころから消費材を食べ育て育ちました。結婚してからは引っ越しが多くなかなか加入できずにいましたが、その間も母から調味料などをもらっていました。特に欠かせなかったのは「牡蠣調味料」。これがないと一味足りず、母の味になりません！そうこうしながら今の家に住まいを決め、やっと加入しました。

くらしに役立つ生活クラブの情報をお届けします♪

生活クラブライフを 楽しもう♪

ビオサポ情報

レシピといっしょに「ビオサポ」関連情報(栄養素など)を紹介します♪

*ビオサポ:生命を意味する「BIO」と「美を」をかけ、生命力にあふれた健康な食生活をサポートしていく、という意味の生活クラブの造語 [ビオサポレシピサイト](#)



納豆キムチスープ



具たくさんで
お腹から温まる

材料(2人分)

- さつまいも …… 50g
- ぶなしめじ …… 40g
- にら …… 20g
- 白菜キムチ …… 80g
- 牛肉小間切れ …… 50g
- ひきわりカップ納豆 …… 1個(30g)
- ごま油 …… 小さじ2
- 真塩 …… 少々
- こしょう …… 少々
- ★コンソメ顆粒 …… 1袋(8g)
- ★水 …… 2カップ

作り方

- 1 さつまいもは1cm厚さの半月切りにし、水にさらす。ぶなしめじはほぐす。にらは3cm長さに切る。白菜キムチは刻む。
- 2 鍋にごま油を熱し、牛肉を炒める。肉の色が変わったら①のキムチを加えて炒め、★、さつまいも、ぶなしめじを加えて5分煮る。
- 3 にらと納豆を加え、ひと煮立ちしたら真塩とこしょうで調味する。

さば缶と切り干し大根の炊き込みご飯



さば缶の汁も活用して
風味豊かに

作り方

- 1 切り干し大根人参ミックスは水で戻して水気を絞る。ぶなしめじはほぐす。
- 2 炊飯器に研いだ米、★、さば水煮缶の汁を加え、2合の目盛りまで水を加えひと混ぜする。さば水煮、①、根生姜をのせて炊飯する。
- 3 炊き上がった後、ざっくりと混ぜて器に盛り、細ねぎをちらす。

材料(4人分)

- 切り干し大根人参ミックス… 30g
- ぶなしめじ …… 100g
- 米 …… 2合
- さば水煮缶 …… 1缶(190g)
- 根生姜(せん切り) …… 1片
- 細ねぎ(小口切り) …… 少々
- ★万能つゆ …… 大さじ2
- ★みりん風醸造調味料 …… 小さじ2

免疫機能を保つために

「腸」を
良い状態に
維持しよう

体全体の免疫細胞の約7割が集まっている「腸」。腸を良い状態にするため、善玉菌を増やすビフィズス菌や乳酸菌を含む食品、腸内環境を良くするオリゴ糖や食物繊維を含む食品を摂ることを意識しましょう。乳酸菌は発酵食品に、オリゴ糖はゴボウ・玉ねぎ・アスパラガスなどに、食物繊維は、きのこ・穀類・豆・いも類などに多く含まれます。



福祉たすけあい基金

100円から始めた地域づくりのお話



地域に住む人たちが「地域の人たちのための活動」を始めるときに必要な資金を、毎月100円の寄付で応援することで、自分も地域づくりに参加できる。そんな「福祉たすけあい基金」を紹介します。

毎月たったの100円で地域の活動を応援？これってなんでしょう？



ルーキーさん

地域の課題に気がついて、行動している人を応援できる仕組みよ！



ベテランさん

福祉たすけあい基金ってなに？



2003年に「生活クラブ神奈川の組合員が毎月100円を寄付して、地域福祉のための活動に使う」という目的に限定して作った基金よ。言わばみんなのお財布ってイメージ。
2013年には、公益財団法人かながわ生き生き市民基金(以下、財団)を設立して、組合員以外の人もさらに活用できるようにしたの。現在は毎月100円の寄付を生活クラブが集金代行して財団に寄付し、管理を託しているわ。
2022年9月までに、のべ215団体(累計およそ6,800万円)の福祉・たすけあいの市民活動や事業に資金助成した実績があるのよ。



組合員が産み育て、地域に巣立たせた財団なんですね！

なぜ？福祉たすけあい基金をつくったの？



創設当時は日本人の寿命が飛躍的に延びた頃で、家族介護の負担が家庭を崩壊させることが問題視されていたの。
2000年に介護を社会で支える介護保険制度が始まったけれど、生活クラブの組合員はもっと前の1980年代から福祉問題に向き合い、地域の当事者として解決のための実践を進めていたのね。
でも、資金不足という問題に直面…。その解決策がこの基金だったのよ。



今どれくらいの参加があるの？



生活クラブ神奈川の組合員8万人の13%にあたる約11,000人が参加し、年間約1,300万円を財団に託し、管理費35%を除いた金額を助成金として活用しているわ。

助成団体や助成金額はどうやって決めるの？



まず、各地域生協から選出された組合員による「選考部会」で申請団体の選考を行い、地域活動に携わる団体代表者らが集まる「選考委員会」で助成団体と金額を決定。「活動の持続性、地域に開かれていること、社会課題に対する明快な解決策を持つこと」などを選考ポイントに、膨大な団体申請書とリサーチ資料を熟読の上、審議して決定するわ。
2022年9月には第18期助成として、17団体に400万円を助成したの。



選考部会
申請団体の選考

選考委員会
助成団体と金額を決定



第17期 助成団体のみなさん

第18期助成団体一覧はHPへ



障がい者支援・生活困窮者支援・居場所づくり…助成団体の活動を知ると、自分の暮らす地域にこんな課題があったのかと気づかされます。



福祉たすけあい基金に参加するにはどうしたらいいの？



配達担当または、デポワーカースに声をかけてみてね。財団HPから賛同用紙をダウンロードすることもできるわ。



賛同用紙のダウンロードはHPへ

たった100円でなにができるのかなあと考えていたけれど、おおぜいの参加が基金になって市民団体に助成することで、地域が活性化することですよね？



そうそう！市民団体の人たちは地域を良くしようと活動しているわ。地域を守り育てるのは、私たちの当事者意識が大切。福祉たすけあい基金に参加することで、地域の団体のことを知って応援できるの。

100円でできる地域づくりに参加してね！

健康・医療推進協議会

福祉・たすけあい活動情報

自分で作る元気なわたし

「経皮毒」の学習会を開催します！

生活クラブ運動グループ10団体で構成する健康・医療推進協議会は、「自分の体を自主管理する」という考え方を広げるための活動を行っています。年明けには、自然治癒力や免疫力を高める暮らしを提案するため、竹内久米司先生をお招きして「経皮毒」の学習会を開催します。

「日常に溢れる化学物質は、合成界面活性剤と結びつくことで皮膚から体内に取り込まれてしまう」

薬剤師である先生は、合成界面活性剤が皮膚に塗布する薬剤の浸透率を高めるといふ研究成果から、暮らしの中のリスクについて警鐘を鳴らしています。演劇経験もある先生のお話はとても楽しく、いつも満席とのこと。
オンラインでも聴講できますので、ぜひご参加ください。

日程 2023年1月16日(月) 10時～12時(予定)
会場 新横浜/スペース・オルタまたはオンライン(Zoom)
参加費 500円

参加申し込みフォームはこちら

オンライン参加は申し込みフォームからのみ受け付けます



《問い合わせ》健康・医療推進協議会事務局
(オルタスクエア内)
TEL 045-476-1110
045-476-1105
(月～土 9時～17時)

健康・医療推進協議会の構成団体
生活クラブ神奈川、あおいほし、生活クラブアトピーネットワーク、W・Co 樹テラレ、W・Co あんず、(株)ウエルリス、オルタスクエア(株)、ミニエーション、生活クラブ家庭薬膳の会、W・Co ぽーとなー

11月末まで
受付中!

「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご協力ください!

2021年1月22日に発効した核兵器禁止条約により、世界は核兵器廃絶をめぐる大きな決断の時を迎えています。唯一の戦争被爆国の日本が条約に加わり参加することが、世界を大きく変えることに繋がります。2022年6月にウィーンで開催された締約国会議には日本政府は参加しませんでした。多くの若者が現地を訪れ、SNSで報告をしていました。

署名活動も大きな影響力があります。平和を守るの一人ひとりの思いです。

かわさき生活クラブ 櫻井 美緒

オンライン署名は
こちらから



見学
10/14 施設見学「ピースリングツアー」

ピースリングツアーとは、在日米軍基地・米軍から返還された施設をガイドに解説してもらいながら見学する平和活動です。今回は環境・平和委員13名が参加しました。

レポート: 湘南生活クラブ 寺島 由美子



日本だけと言われている戦闘艦の母港で、佐世保と並ぶ海軍施設。海から間近に駆逐艦、巡洋艦、潜水艦などを見ることが出来ます。今回はボートから視察しました。が、穏やかな港に米軍と自衛隊の船が入り混じって一体化しているように見えました。軍事行動の支援が進んでいるようにも感じ、有事の際を想像して怖くなりました。

日本だけと言われている戦闘艦の母港で、佐世保と並ぶ海軍施設。海から間近に駆逐艦、巡洋艦、潜水艦などを見ることが出来ます。今回はボートから視察しました。が、穏やかな港に米軍と自衛隊の船が入り混じって一体化しているように見えました。軍事行動の支援が進んでいるようにも感じ、有事の際を想像して怖くなりました。



横須賀海軍施設

(横須賀市)

見学施設
在日米軍基地

池子住宅地区及び海軍補助施設



出典: 神奈川県/パンフレット「かながわの米軍基地」

日米地位協定を基に法的特権をもつて3,000余人の軍人が居住しています。附属施設(管理事務所・テニスコート・野球場・陸上競技場・売店・食堂など)は、すべて日本政府の思いやり予算で建設されています。皮肉なことに、池子の森は米軍施設で人の立ち入りが禁止されていたために開発から守られ、貴重

横浜ノース・ドック



(横浜市神奈川区)

横浜埠頭の約81%を占める広大な港湾施設。相模総合補給廠や横田飛行場などに運ばれる米軍物資の陸揚げを行うため、貨物船以外に揚陸補助艦も停泊します。

軍から返還された施設
小柴貯油施設 (横浜市金沢区)

戦後、米軍が航空機燃料の貯蔵施設として使用し、2005年に返還された施設。1981年に6号タンクが爆発し火災が発生、2020年には埋戻し作業中に転落事故が起こりました。1981年の爆発時、私はかなり離れた中学校に通っていました。校舎のガラスが物凄い風圧で大きな音かして騒然となったことを、この視察で思い出しました。タンクは直径40m深さ30m、多額の費用がかかるため撤去せずに埋戻し、一部を歴史的遺構として保全する計画ですが、土壌汚染により進展していません。なお日米地位協定に基づき在日米軍に工作物撤去・原状回復の義務はありません。

ツアーを通して、軍事物資供給施設や米軍補助施設がこんなにもたくさんあることに驚きました。軍事関係の情報には明らかにされず、住民でも知らないことばかり。問題意識を持つことはとても大切で、特に税金の使い方には厳しい目を向けていきたいと思います。

あなたにとっての「平和」とは?

毎日の暮らしの中で、あなたは「平和」についてどれくらい意識して過ごしていますか? あまり意識する機会がないこと自体が、実は平和な暮らしなのではないでしょうか。何でも日常が、ある日突然に奪われてしまうのが戦争です。そして核兵器の脅威についても他人事ではられません。

生活クラブ神奈川環境・平和委員会*では、世代を超えて平和や戦争について考える場を、様々な取り組みを通じて発信しています。*生活クラブ神奈川環境・平和活動を推進する専門委員会。各地域生協理事会からの参画で運営されています。



オンライン
8/6 親子平和企画
「親子で平和について考える」

77年前に広島に原爆が投下された日と同日、「核なき世界の実現に向けて」をテーマに、親子で平和について考える企画をオンラインで開催しました。

企画では、長崎大学核兵器廃絶研究センター特任研究員/林田 光弘さんによる基調講演、過去のヒロシマ子どもスタディツアー参加者による報告を行い、最後にグループワークで平和について日ごろ考えていることを話し合いました。

レポート: かわさき生活クラブ 小林 知江



基調講演の様子

「桃太郎と鬼、どの立場から見るかで物語の受け止め方が変わります」(林田光弘さん)

出典: 2013年度「新聞広告クリエイティブコンテスト」

基調講演

林田さんと平和活動

林田光弘さん(30歳・2歳児の父)は、長崎の出身。小学生の時、授業で被爆者の話を聞き、「火のトンネル」という大きな絵を描きました。2009年には「高校生平和大使」として署名を国連に届け、翌年NPT再検討会議に合わせアメリカで被爆者の体験を紙芝居で披露するなどの活動をしてきました。そのなかで海外での原爆の認知度の低さと考え方の相違に気付かされ、「なぜ核兵器がなくならないのか」を考えるようになったことが、現在の活動を始めたきっかけと言います。

歴史を学んで違いを理解することが平和に繋がる第1歩

講演では戦争や核兵器について、フランス革命や日本で戦後に女性の参政権が認められたよ

ヒロシマ子どもスタディツアー
参加者による報告

小学生の時、ヒロシマ子どもスタディツアー(2014年)に参加した佐野文治さん(高校3年生)の報告では、当時の記憶が鮮明に残っているとお話がありました。実際に現地を訪れ感じることが子どもにとって平和を考えるきっかけとなり、貴重な経験だったことが伝わってきました。

核兵器廃絶を様々な立場の人に、どの様に伝えるかは大きな課題です。地道でも私たちの平和活動は重要で、継続してより多くの人に伝えていくことが大切だと、参加者から心強いメッセージを頂きました。対話を通じた活動から平和活動への共感を広げていきたいと思います。

対話で広げる平和への共感

カルチャースクール **ACT** TEL 045-472-7633
 カルチャースクール・アクト 検索 FAX 045-472-7644

**入金会
不要** 冬の特別講座 教室 記載のない講座はオルタ館

超簡単! 内臓から元気になる体操
 内臓を元気にして身体の不調を解消。
 11/14・12/12(月) 13:00 ~ 14:15 2,000円/1回

はがき絵の年賀状
 11/21(月) 13:00 ~ 14:30 2,500円 筆購入は別途1,320円

クリスマスリース
 オルタ館 11/26(土) 港南センター 11/25(金)
 10:00 ~ 12:00 6,000円/1回/②込

修験者に教わる心と身体の使い方
 ~願いをかなえる瞑想法①~ 講師自宅(荏田南) 駐車場有
 11/30(水) 14:00 ~ 16:00 3,500円

~甘酒を使って~ シフォンケーキとシュークリーム
 12/1(木)・2/20(月) 12:00 ~ 15:30 7,000円/1回/②込

姿勢バランス改善 ~脳神経系からカラダを整える~
 12/2(金) 13:30 ~ 15:00 2,500円

イタリアの味そのままに パネトーネ
 12/2(金) 13:15 ~ 15:50 6,000円/②込

最高に美味しいシュートレーン
 12/8(木) 13:15 ~ 15:50 6,000円/②込

クリスマスコンサート ~朗読&ヴァイオリン~
 12/12(月) 10:30 ~ 12:00 3,500円

バナナの森のXmasケーキ
 12/24(土) 13:30 ~ 16:00
 5,500円/②込/箱・飾り付 限定5組

お正月飾り(スワッグ)
 オルタ館 12/24(土) 港南センター 12/23(金)
 10:30 ~ 12:30 3,500円/1回/②込

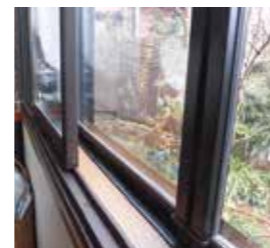
星が語る2023年 限定8名
 12/23(金) ①社会編 13:00 ~ 14:50 ②個人編 15:00 ~ 17:00
 3,500円/1講座 6,500円/2講座 ③① 300円 ② 400円

講師募集中! ※各講座とも講座維持費200円が必要です。日程が変更になることがあります。詳しくはこちら→

オルタスクエア TEL 045-476-1105
 オルタスクエア 検索 FAX 045-476-1106

「こどもみらい住宅支援」補助金が断熱工事に使えます

子育て世帯(2023年3月末まで子どもが19歳以下)や若者夫婦世帯(夫婦どちらかが2023年3月末まで39歳以下)であれば、断熱工事や省エネ機器工事で補助金が受けられます。補助金額は、例えば掃き出し窓への内窓取り付けで21,000円、太陽熱温水システム設置で24,000円などですが、補助金合計が50,000円以上になる必要があります。



既存の窓の内側にインナーサッシを取り付けて断熱

お気軽にお問い合わせください

オルタ健康ステーション TEL 045-471-1733
 オルタ健康ステーション 検索 FAX 045-472-0109

無料 アレルギー生活相談

ステロイドを使い続けるのは不安
 薬がいらなくなればいいな
 そんな、アトピー・喘息・食物アレルギー・化学物質に悩んでいる方の相談を、アトピーネットワーク相談員がお受けします。



- ▶ 不安やお悩みに寄り添い、一緒に「なんとかいける!」という気持ちになるためのお手伝いをできればと思っています。
- ▶ 自分の使っている薬を知ろう
- ▶ 衣食住に使用されている化学物質をチェックしよう
- ▶ 食物アレルギーの方は、症状と食事記録をつけよう

日時 毎月第1・第3木曜日 10:00 ~ 13:00 **要予約**
相談時間 お一人30分 **相談方法** 対面または電話

理事会だより

- 第3回定例理事会(9/5) ●報告承認事項(抜粋)
 1.共同購入配食事業検討会報告書の承認と(仮称)共同購入配食事業実験実施検討プロジェクトの設置について承認した。
 2.のぼりとデポー全面リニューアル工事計画について承認した。
- 第4回定例理事会(10/5) ●報告承認事項(抜粋)
 1.復興まつり開催の決定について承認した。
 2.市民政策提案活動意見書の提出について承認した。
 3.生活リハビリクラブ橋本事業推進会議報告及び訪問事業3ヵ年計画について承認した。

編集後記

ご飯のおともといえば明太子・肉そぼろ・お漬物など好みがありますが、何はともあれ、お味噌汁は欲しいですね。私はマルモ青木味噌「こうじみそ」派です。お行儀悪いですが、そのまま味噌を一口舐めただけで体がじゅわっと癒されます。炊き立てご飯の白い色とお味噌汁の香り、それだけでもう食欲をそそられます。(びい)

デポー情報

年末年始のお買い物はぜひデポーへ!
12/19(月)~30(金)は連続オープン 定休日にかかわらず全デポー開所
休み▶ 12/31(土)~2023/1/5(木) 全デポー 2023/1/6(金)から開所

研究フォーラム 2022

ケアに満ちた地域社会をつくろう
 ~「子ども・若者ケアラー」の現状と課題~
日時 12/7(水) 13:30 ~ 15:00
参加方法 会場(新横浜/スペース・オルタ)・オンライン
問合せ 参加型システム研究所 ☎045-222-8720
 ※新型コロナ感染拡大の状況によっては、オンライン開催のみに変更する場合があります

基調講演 **子ども・若者ケアラー支援の現状と課題**
 <講師> 斎藤 真緒氏(立命館大学大学院教授)

てい談 **市民参加による子ども・若者支援活動の活性化に向けて**
 <パネラー> 斎藤 真緒氏、沖村 有希子氏(若者ケアラー・福祉サービス会社代表)、中嶋 圭子氏(日本ケアラー連盟理事)

オルタ館 **インフォメーション**

生活クラブ神奈川の施設「オルタナティブ生活館」を中心に活動を行う関連会社、関連団体の講座、イベント情報、キャンペーン等をお伝えするコーナーです。

新型コロナの感染状況によっては、企画を中止する場合があります。詳細はお問い合わせください。

NPO法人 **フォーラム・アソシエ** TEL/FAX 045-472-7093
 フォーラム・アソシエ 検索

暮らしのヒント

紙袋を使って簡単ラッピング

子どもの健全育成と社会教育の推進を図るフォーラム・アソシエには、地域で活動するさまざまな会員がいます。その一人、藤原 知子さんから、イベントシーズンに向けたラッピングアイデアをご紹介します!

STEP 1 中身を入れ袋の口を合わせ、マチの幅より大きくならない様に水平にジャバラに折る。縦にリボンをかける。

STEP 2 蝶結びをして、ジャバラを広げる。

POINT 無地の袋は、包装紙やペーパーナプキンなどを回しかけると素敵に。ジャバラの上を両面テープで貼って広げれば、更に華やかになります。

藤原さんからのコメント

クリスマス・お正月・バレンタインと、贈り物の機会が増える季節です。プレゼントをラッピングで素敵に演出しませんか? 箱や包装紙が無くて、袋で簡単にラッピングできます。リボンの代わりに毛糸や麻紐を使ったり、シールやマスキングテープ、木の葉などをプラスしたりとアレンジも。受け取った方の喜ぶ顔を思い浮かべながら、楽しくラッピングしてみましょう!

生活クラブ神奈川の施設 **オルタナティブ生活館 (オルタ館)**
 新横浜駅 下車徒歩7分

会議室、調理室、ミニホール(スペース・オルタ)、薬局、親子ひろばなど、どなたでも利用できます。

スペース・オルタ 会場スペース・オルタ(オルタ館地下1階)
 スペース・オルタ 検索 TEL/FAX 045-472-6349 (担当/佐藤)

2022年度 アイヌ感謝祭

日時 11/26(土) 14:00~17:00
 首都圏に5千~1万人が暮らすといわれるアイヌ民族。首都圏アイヌの活動を紹介し、この運動に連なる人々に感謝を捧げる場を3年ぶりに開きます。

歌や踊り -アイヌプリ on ステージ-
 主催:チャシ アン カラの会 協賛:スペース・オルタ

- ◆ ムックリ/ウボポ/リムセ/イフンケなど(首都圏のアイヌの方々)
- ◆ ゲストお話 奈良 美智「アイヌとの交流を通して」/ツァゲールニック・タッチャ「ロシアの植民地主義-ベラルーシの視点から」/沖津 翼「太田さんというアイヌについて思うこと」/門別 徳司「アイヌのマタギとして」など

料金 当日2,500円 前売り2,000円(中学生以下1,000円)
予約・問合せ FAX: 042-763-6602(チャシ アン カラの会/島田) ※電話での問合せはスペース・オルタへ

2022年度『魂鎮』

黒川さんさ踊りを学ぶ横浜グループ、二子流東京鬼剣舞、金津流横浜獅子舞。都市で産地の芸能を学ぶ三グループが、一年の踊り納めを篠原八幡神社に奉納する恒例の場を開きます。

開催日 12/25(日) **【奉納舞】** 正午過ぎ頃開始
料金 無料 **会場** 篠原八幡神社境内(新横浜駅から徒歩8分)
 ※道行き同行ご希望の方は、当日11:30までにオルタ館1Fにご参集ください
共催・問合せ スペース・オルタ シルクロード舞踏館(進藤TEL:045-473-3407夜のみ)

地域でともに活動しています! **全員参加による地域未来創造機構 (略称:未来機構)**

持続可能な地域社会づくりをめざします

地域を豊かにする活動の創出・推進をめざし、未来機構では県内4ヶ所で「市民基礎講座」「リーダー講座」を開催しています。第1クールは横浜市で開催し、受講者の自己紹介では「地域の居場所を作りたい」「活動のヒントを得たい」などの受講動機が聞かれました。

最初の講義で講師を務めたのは、生活クラブ神奈川の篠崎みさ子理事長。さまざまな社会問題と私たちの生活が関わっており、子どもの貧困やヤングケアラー、地域のつながりなど、身近な課題を「誰か」の問題でなく「私」の問題として捉え、新たなつながりを作っていく重要性を指摘しました。地域課題に取り組むアソシエーションやW.Coの当事者から活動や運営

の実際を聞き、現場を見て学びながら自らの考えを深め、それを形にしていくヒントが得られることに、受講者から多くの共感が寄せられています。

2022年12月~2023年1月には相模原市・海老名市、2~3月は鎌倉市で講座が開催されます。受講のお申込みは下記事務局まで。お待ちしております。

地域活動連携コーディネーター 菅原 順子
事務局 ☎ 045-534-7131 FAX 045-534-7151
 ✉ minnano@miraikikou.org
 講座の参加申し込みはこちら→



講座の一環として、表紙のHOMMOKUもくくりを視察



富士村さん

消費材への思いをお伝えするコーナーです。今回は天然素材を用いた消費材や脱プラスチックに率先して取り組んでいる生産者、「有限会社生活アートクラブ」(東京都新宿区)の富士村さんにお話を伺いました。

単にものを売るのではなく 楽しく健康な生活をデザインする

有限会社生活アートクラブ 代表取締役 富士村 夏樹さん



環境問題に取り組むことが 私たちの健康な暮らしに繋がる

生活アートクラブでは、環境に優しく、安心して使えるものを組合員へお届けしています。その背景には、単にものが売れば良いという考えではなく、それを使うことで楽しく健康な生活を送ってほしいという思いがあります。

2002年の創業以前、私は祖父の代から続く乳酸菌飲料メーカーで、常日頃から腸内環境や健康について意識しながら働いていました。そうしたなかで、私たちが身体の中から健康になるには、まずは生活環境を良くする必要があります。そして、その生活環境を良くするためには、地球環境を良くすることが最も大切ではないかと思いつたのです。

この考え方が、社名の由来にもなった「生活や暮らし全体をデザインしたい」という思いに繋がって、生活アートクラブという会社を設立するきっかけになりました。

環境に配慮したものを届けたい 組合員の生活に貢献したい

創業するにあたり、地球環境を良くするために生活アートクラブにできることは何か。そう考えていたとき、私たちは農業が環境に与えるダメージの大きさを知りました。そこで、天然の抗菌作用がある「青森ヒバ」に着目し、オリジナルの防虫剤を開発しました。

しかし、当時は環境に配慮して開発されたものは市場でなかなか認められず、苦労しました。そんななか、生活クラブの職員と出会い取引がスタート。現在では、合成化学薬剤不使用の洗濯用消臭剤・抗菌剤「フイトンR」シリーズなどが好評です。このシリーズは「屋久島の澄んだ空気を再現したい」との想いで開発。樹木が放出する成分で、抗菌作用があるとされる「フイトンチッド」を化学的に分析して、ヒバ・ヒノキなど30数種類の植物の精油をブレンドしています。



生活アートクラブの消費材は、包材にも注目してみてください！セロハン(木材パルプのフィルム)を多数使用しています

また私たちはプラスチックごみの問題にも取り組み、プラスチックの使用量を減らすために、木材パルプのみでできたフィルム製の包装資材「森のフィルムパック」を開発。消費材の包装を順次のフィルムに切り替えています。

組合員の声があるから よりよいものをつくり続けられる

生活アートクラブは小規模な会社だからこそできる利点を生かして、日々使うものから環境に配慮した取り組みを率先して進めています。そして、なにより組合員が私たちの消費材を選んで使い続けてくれることが大きな支えです。

私たちはデポーに足を運び、感想を直接聞くようにするなど、消費材の改善に努めています。環境問題にも率先して取り組んでいる生活クラブを見習いつつ、私たちも組合員の声を糧に、消費材を通じて社会の仕組みを変える挑戦を続けていきます。

左の『SASA-WASH ロングワイド』は、デポー組合員の声から既存消費材を改良して2022年夏にデビュー



和紙に抗菌性の高い「くま笹」の繊維を渡き込んだ、パイル地の食器洗い

information

ドキュメンタリー映画

「ゆめパのじかん」上映会

日時 11/26(土)
第1部 10:30～12:00上映
12:00～舞台挨拶
第2部 13:00～舞台挨拶
13:30～15:00上映

会場 生活クラブくらしてらす3階 (市が尾デポー上)

問い合わせ 政策調整部/藤田
☎045-474-0985
(月～金・祝 9:00～17:00)



参加申込・詳細はHPへ

「フリースペースえん」を運営する
NPO法人フリースペースたまりば
代表 西野 博之さん
舞台挨拶も開催!



川崎市にある子どもたちの居場所「川崎市子どもゆめパーク」、通称「ゆめパ」。この一角には「フリースペースえん」があり、学校に行っていない子どもたちが自分の「好き」をあたためています。泣いて笑って、時に立ち止まりながらゆっくり育てゆく子どもたちと、ともに過ごす大人たちの「じかん」を、約2年にわたり見つめたドキュメンタリー映画です。



主催：生活クラブ多様な学びづくりプロジェクト

組織概要(神奈川県)

組合員人数 86,534人(2022年9月末 82人増) 5月度加入 800人、脱退 718人
世帯当り利用高 20,691円(2022年9月) 世帯当り出資金 131,977円(2022年8月)

ちょこっとQの答え▶ 地域たすけあいコーディネーター。各地域で「おたがいさま」の関係を広げていきます。表紙の5人は14ページ「未来機構」の講座に参加していました。
※「生活クラブのたすけあい活動」に関する記事は2～4ページに記載

